

豊かな収穫へ行進!!

新登場

野菜用殺菌剤

パレード20[®] フロアブル

適用
拡大

セルトレイ
灌注もできます
レタス、キャベツ、
はくさい、ねぎ



菌核病・灰色かび病など

幅広い病害に高い効果を発揮!!
適用作物への薬害リスクが極めて低い!



あずき／菌核病



ブロッコリー／黒すす病



レタス／菌核病



たまねぎ／灰色腐敗病



ねぎ／黒腐菌核病



いちご／灰色かび病

農林水産省登録第24071号

®は日本農業(株)の登録商標



石原バイオサイエンス株式会社

殺菌剤 パレード[®]20 フロアブル

有効成分：ピラジフルミド…20.0%
安 全 性：普通物（毒劇物に該当しないものを指していう通称）

特長

パレード20フロアブルは新規有効成分「ピラジフルミド」を含有する野菜・畑作・花き用SDHI殺菌剤です。

■幅広い病害スペクトラムを有します

菌核病、うどんこ病、灰色かび病等、幅広い病害に対し高い効果を示します。

■効果持続性に優れます

降雨の影響を受けにくく、また葉内への浸透性を有し効果持続性に優れます。

■適用作物への薬害リスクが極めて低く使いやすい薬剤です

幅広い作物で栽培期間を通して使用できます。また多くの種類の作物で収穫前日まで使用できます。葉菜類にはセルトレイ灌注処理もできます。

適用病害虫および使用方法

が2021年7月に適用拡大になりました

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ピラジフルミドを含む農薬の総使用回数					
あずき いんげんまめ 豆類（未成熟）	菌核病、灰色かび病	2000～ 4000倍	100～300ℓ/ 10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内					
トマト ミニトマト	灰色かび病、葉かび病、うどんこ病、菌核病 すすかび病	2000倍										
なす	灰色かび病、すすかび病、菌核病、うどんこ病	2000～ 4000倍										
きゅうり	灰色かび病、菌核病、うどんこ病、褐斑病 つる枯病	2000倍										
にがうり	うどんこ病	2000～ 4000倍										
すいか	菌核病、うどんこ病、つる枯病											
メロン	つる枯病、うどんこ病、菌核病											
はくさい	黒斑病、白斑病 菌核病、苗立枯病（リゾクトニア菌）											
キャベツ	菌核病、苗立枯病（リゾクトニア菌）、根朽病 菌核病、株腐病、根朽病	100倍						※	育苗期後半～定植当日	1回	灌注	3回以内 (灌注は1回以内)
プロッコリー	菌核病、黒すす病	2000～ 4000倍						100～300ℓ/ 10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
レタス 非結球レタス	菌核病、灰色かび病、すそ枯病											
	菌核病、すそ枯病		100倍	※	育苗期後半～定植当日	1回	灌注					3回以内 (灌注は1回以内)
たまねぎ	灰色かび病、灰色腐敗病、小菌核病	2000～4000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内					
ねぎ	黒腐菌核病 黒斑病、葉枯病、小菌核腐敗病	100倍	※	育苗期後半～定植当日	1回	灌注	3回以内 (灌注は1回以内)					
いちご	さび病、黒腐菌核病	2000倍	100～300ℓ/ 10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内					
ピーマン	うどんこ病、灰色かび病	2000～ 4000倍										
花き類・観葉植物 (ばら、さくらんぼ、トルコギキョウを除く)	うどんこ病											
ばら	黒星病											
さくらんぼ	白さび病 うどんこ病	2000～4000倍 4000倍	発病初期	3回以内	散布	3回以内						
りんどう	黒斑病、花腐菌核病	2000倍										
	うどんこ病	4000倍										
トルコギキョウ	斑点病	2000～4000倍										

*セル成型育苗トレイ1箱または、ペーパーポット1冊（約30×60cm、使用土壤約1.5～4ℓ）当たり0.5ℓ

注意事項

■薬耐性菌の出現を防ぐため、過度の連用は避け、なるべく作用性の異なる薬剤との輪番で使用してください。

■灌注で使用する場合には、次の注意事項を守ってください。

①調製液をセル成型育苗トレイ又はペーパーポット上方から全体に行き渡るように灌注してください。また、薬剤の効果を十分に発現させるために、処理直前や直後の灌水はさけてください。

②キャベツ又ははくさいの苗立枯病に使用する場合、リゾクトニア菌による苗立枯病には有効ですが他の病原菌による苗立枯病には効果が劣るので、リゾクトニア菌以外による苗立枯病の混発が予想される場合には他の有効な薬剤と組み合わせて使用してください。

③キャベツの根朽病に使用する場合、育苗期間中の感染が生じるため、育苗期間を主体に使用することが望ましいです。

*本印刷物は2021年9月時点での知見に基づいて作成しています。

④レタスのすそ枯病に使用する場合、灌注処理での効果は生育初期が主体であるため、その後の発生が予想される場合には他の有効な薬剤と組み合わせて使用してください。

■適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましく、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。

■使用の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。

■作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。

■かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届くところには置かないでください。



石原バイオサイエンス株式会社

〒102-0071 東京都千代田区富士見2丁目10番2号

ホームページ アドレス <https://ibj.iskweb.co.jp>

ホームページの
製品情報へ



取り扱い